

エクセル ミニマム

11 June 2009 谷口貴志

用語

1. **セル**: 一番小さい長方形の箱 (1 の A)
2. **アクティブセル**: 太枠で囲まれたセルのこと
3. **行と列**: (1,2,3....行、A, B, C, D...列)

セルの移動

1. 矢印キーで移動する
2. マウスで移動する
3. Tab、Enter、Shift+Tab、Shift+Enter で移動する
 - Tab** : 右横への移動、
 - Enter** : 縦(下)への移動、
 - Shift+Tab**: 左横への移動、
 - Shift+Enter**: 縦(上)への移動
4. PageDown、 PageUp で移動する
5. **Ctrl+Home**: 1 行 A 列へ移動
6. **Home**: 行頭へ移動
7. **Ctrl+End**: 入力されているセルの中で、一番右下へ移動

セルの選択

セルの選択

1. クリックして選択する
2. ドラッグして選択する : 領域が選択できる
3. **Shift** を押しながらクリックして選択する : 領域が選択できる
4. **Shift** を押しながら、矢印ボタンして選択する : 領域が選択できる
5. **Ctrl** を押しながらクリックして選択する : クリックしたセルを複数選択できる

セルの挿入

「セルを選択」、右クリックし、「挿入」を選択、「ずらす方向を指定」し実行。

(複数行挿入したいときには、複数行を選択し、同様の操作を行うと可能)

セルのコピー・貼り付け・切り取り、セルの結合・解除

1. セルのコピー 領域を選択した後,, **Cntl+C**
2. セルの貼り付け 貼り付けたいセルの位置に移動し、**Cntl+V**
3. セルの切り取り 領域を選択した後,, **Cntl+X**
4. セルの結合 「セルを2つ以上選択」し「右クリック」すると出てくる
「セルの書式設定」の中の「配置」を利用
5. 結合の解除 上記の逆プロセス

行と列の操作

1. 行と列の挿入の仕方

一番左(上)端にある行(列)番号を右クリックし行(/列)を選択、
右クリックで「挿入」を選択、選択した行(列)の上(左)に新しい行(列)が挿入
(複数行挿入したいときには、複数行を選択し、同様の操作を行うと可能)

2. 行と列のコピー・貼り付け・切り取り

一番左(上)端にある行(列)番号を右クリックし行(/列)を選択、
右クリックで「コピー」(or 「貼り付け」、「切り取り」)を選択

編集機能の基本

1. 操作の取り消し(元に戻す) Cntl+z
2. 操作の繰り返し(やり直し) Cntl+y

データ管理機能の基本

1. 並び替え

「あいうえお順」や「アルファベット順」など指定の順にデータを並び替えること
メニューの中の「データ」から「並び替え」を選択。後の操作は、指示に従えばよい。

2. オートフィルタ

指定したデータ内容を含むセルだけを表示させること
メニューの中から「フィルタ」を選択し、表示させたい内容を指定。

3. 入力規則

関数の書き方

1. 関数の基礎知識 A. 必ず「=」から始める。
 B. 半角でなければならない。大文字、小文字の区別はない。

2. 四則演算 セル中次のようにやってみよう。

(+, -, *, /)	= 3 + 4	[Enter]
	= 3 - 4	[Enter]
	= 3 * 4	[Enter]
	= 3 / 4	[Enter]

3. セル参照のしかた

- ・ 例えば、A列1行(A1)のセルが 999 のとき、B列1行のセルにその値を使いたいとき、**B列1行のセルで = A1**
- ・ A列1行が 999 で、B列1行が 1001 のとき、この和をC列1行のセルで計算したいならば、**C列1行のセルで = A1*B1**

4. セルの相対参照 (コピーで、おおもとの参照先ではなく、コピー元が参照される)

5. セルの絶対参照 (コピーでも、大本の参照先がコピーされる。

例えば、**=\$A1 or =\$A\$1** として用いる。

関数の紹介

1. 条件を指定する IF

IF(条件式, 条件式に当てはまる場合, 条件に当てはまらない場合)

例 1 IF(A1 <=50, “○”, “×”) A1 の値が 50 以下のとき、○、それ以外 × と表示。

例 2 IF(A1<=50, A1*3, A1/2) A1 が 50 以下の時、A1 を 3 倍、それ以外 1/2 倍

例 3 IF(A1<=50, A1*3, IF(A1<=100, A1/2, A1-50))

A1 が 50 以下の時、A1*3,

それ以外で、A1 が 100 以下のとき、A1/2、更にそれ以外は A1-50

2. 合計を求める SUM

SUM(セル参照、セル参照、セル参照、...) 例 =sum(A1, B3, D4, E2)

SUM(セル参照: セル参照) 例 =sum(B1:B3) B1+B2+B3

例 =sum(B1:C3) B1+B2+B3+C1+C2+C3

3. 剰余を求める(割ったあまり) MOD

MOD(数値, 除数) 数値を除数で割ったあまり =MOD(A2, 2)

4. 平均値を求める AVERAGE

AVERAGE(セル参照、セル参照、セル参照、...) 例 =average(A1, B3, D4, E2)

AVERAGE(セル参照: セル参照) 例 =average(B1:B3) 例 =average(B1:C3)

5. 最大値、最小値を求める MAX、MIN
 MAX(セル参照、セル参照、セル参照、...) 例 =MAX(A1, B3, D4, E2)
 MAX(セル参照:セル参照) 例 =MAX(B1:B3) 例 =MAX(B1:C3)
6. 文字列の結合: &
 例 A1 が “化学” A2 が “講義” のとき、A3 のセルで =A1&A2
 例 A1 が “化学” A2 が “講義” のとき、A3 のセルで =A1&”の”&A2
7. 空白の指定方法 (ダブルクォーテーションを2つつづける。つまり、「 ” 」)
8. 分散 σ^2 の計算 $\sigma^2 = (n\sum x^2 - (\sum x)^2) / n^2$ VARP(セル参照:セル参照)
9. 標準偏差 σ の計算, sqrt(σ^2)関数を用いるか STDEVP(セル参照:セル参照)
10. 条件を満たす件数の算出 COUNTIF(セル参照:セル参照, 条件)
 例: COUNTIF(B1:B100, “>=90”) B1 から B100 までのセルの中で値が 90 以上の数
11. 条件を満たす件数の算出 (複数条件と範囲)
 例: COUNTIFS(B1:B100, “>=80”, B1:B100, “<90”) B1 から B100 までのセルの中で値が 80 以上 90 未満の数
12. 論理演算子
 AND(論理式 1, 論理式 2, 論理式 3, ...) 全ての論理式が真の場合に、TRUE を返す
 OR(論理式 1, 論理式 2, 論理式 3, ...) 何れかの論理式が真の場合に、TRUE を返す
 NOT(論理式) 論理式が偽の時、TRUE を返し、真の時、FALSE を返す。

関数でよく起こるエラー

1. 割り算 例 =1/0 #DIV/0! と表示される。
2. 参照エラー 参照先に値がない場合 #VALUE! と表示される。
3. 循環参照 例 =以下で自己参照したり、LOOP 状の参照になった場合。